

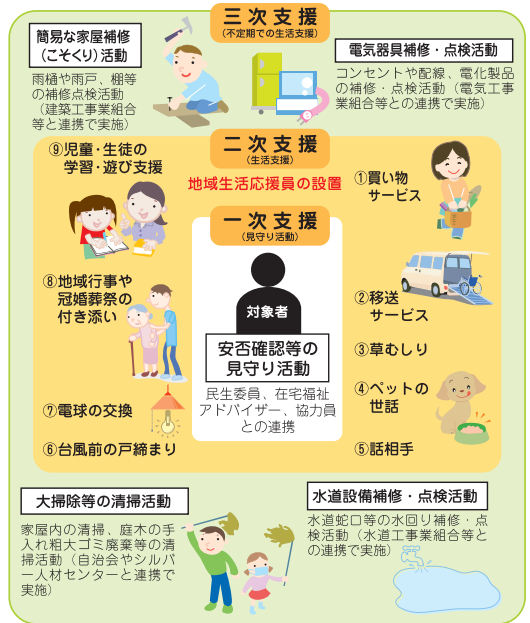


「地域福祉第一線」では、さまざまな地域福祉活動に先駆的に取り組む市町村社協や団体、または人物などを取り上げ、その活動を紹介します。

あんしん・安全に暮らせる地域社会づくりを目指して

地域福祉推進事業の取り組み

鹿児島県社会福祉協議会では、今年度より「これからの地域福祉のあり方に関する研究会報告」や「鹿児島県共生・協働型地域コミュニティのあり方に関する研究会報告」等に対応した、本会独自の『地域福祉推進事業』（市町村社協への助成事業）に取り組んでいます。地域課題に対応した活動を推進することによって、地域の福祉活動が具体的に動き出すための“呼び水”となることを狙いとしたものです。これまでの県内の市町村社協の具体的な取り組みについてご紹介します。



私たちの地域において求められていること

現在、県内においては支援を必要としている住民に対しての見守りや安否確認の活動、サロン活動等の住民主体の小地域福祉活動が積極的に展開されています。しかしながら、地域の中には例えば単身高齢者世帯等の買い物支援や布団乾し、電球交換やゴミ出しといった公的サービスや見守り、サロン活動だけでは対応できない、多様な生活課題があります。

本会では、こうした幅広い生活課題に対応し、地域住民の日常生活を支える地域福祉の実践活動を市町村社協から募集し、『地域福祉推進事業』として、地域での助けあい活動の活性化を図っています。現在、6市町（薩摩川内市、肝付町、南種子町、喜界町、徳之島町、和泊町）の社会福祉協議会において取り組みを始めています。

あんしん・安全ネットワークセミナーの開催

今年度は、“誰もがあんしんで安全な生活をおくれる地域社会”を作るという視点から、現在展開されている小地域ネットワーク活動を核としつつ、住民の生活課題に対応する、小地域福祉活動の展開方策について協議することを目的に、「あんしん・安全ネットワークセミナー」を開催しました。県内3ヶ所（薩摩川内市、肝付町、徳之島町）において開催し、たくさんの参加をいただきました。セミナーでは『地域福祉推進事業』に積極的な取り組みを実施している社協を中心に、地域における行政や民生委員・児童委員、ボランティア等の見守りを中心とした小地域ネットワーク活動について、パネルディスカッションが行われました。パネルディスカッションでは、パネリストによる事例発表や地域づくりのための積極的な意見交換がなされ、参加者は熱心に聞き入っていました。



H21.11.27 肝付町会場



H22.1.26 徳之島町会場



H21.12.15 薩摩川内市会場

市町村社協の取り組みの一例 肝付町社会福祉協議会 (川上地区)



住民座談会



ごみ分別・運搬の支援



ニーズと支援のマッチング

肝付町会場においては、肝付町社協がモデル地区として地域福祉推進事業に取り組んでいる川上地区の状況が紹介されました。

山間にある肝付町川上地区は、人口371人、170世帯、高齢化率43.7%であり、地域住民の共助が必要不可欠な地域です。町社協では、【住民座談会】において事業の趣旨説明を行い、地域住民を対象に日常支援のニーズ調査を実施しました。調査結果をもとに、【ニーズと支援のマッチング】を行い、【ごみ分別・運搬の支援】などの、住民同士の支え合い活動を始めました。その他の市町村社協においても、イメージ (右上図) のように、地域の見守り活動を基盤として、日常的な生活課題の把握と対応をすすめています。

このように、まだ県内での取り組みは始まったばかりですが、本会では、よりよい地域社会づくりへの手助けとなるよう、「地域福祉推進事業」をとおして市町村社協への支援を続けていきます。